

学びを止めない



Illustrated by Takashi Inui

第60回(2021年)
 全国保育問題研究集会
 東京集会(オンライン)
 実行委員会
 〒113-0033
 文京区本郷 5-30-20
 サンライズ本郷 7F
 TEL 03-3818-8026
 FAX 03-3818-8026

4月25日より 集会申し込み期間 (B) が始まります！！

第60回 全国保問研集会 東京集会(オンライン)

2021年6月12日(土) 13日(日) 20日(日)

保育問題研究会の原点 学びを止めない



東京集会 HP より申し込みができます。
団体参加プラン、個人参加プラン、
記念講演・特別講座のみプラン
 があります。
 是非、お申し込みください！



保育問題研究会は、戦前・戦中・戦後そしていかなる災害下においても仲間が集い、学びへの探求心を持ち続け今日で85年を迎えました。新型コロナウイルスの脅威に晒される今もなおその精神が衰えることは決してありません。今だからこそ保問研85年の歴史に学び、オンラインであっても人と人とのつながりを再確認し、学びを継続していきます。



URL はこちら → <https://confit.atlas.jp/zenhomon2021>

提案号はお持ちですか？

分科会で討議する実践はこちらの『季刊保育問題研究』308号(新読書社)に掲載されていますので、必ず事前に購入してください。

(新読書社 FAX/03-3814-3097)

[Mail/ info@shindokusho.jp](mailto:info@shindokusho.jp)



記念講演 撮影をおこないました！



特別対談 大宮勇雄 × 汐見稔幸



この特別対談を見なかったら、聞かなかったらもったいない！汐見氏と大宮氏が互いを尊重しつつ自身の考えをぶつけ合う姿を目の当たりにすることで、私たちの心もおのずとインスパイアされます。二人の対話の先にあるものは？必見です！

(五十嵐)

未来の保育について、大宮氏、汐見氏のお二人が語り合う趣のある対談は「自らの発言をとらえ、自らの発言を超える」止揚（アウフヘーベン）した世界をつくりだしてします。今回のテーマ「学びを止めない」にぴったりの内容です。期待してください。

(伊集院)

企画段階でも期待しかありませんでしたが、お二人の対談を目の当たりにして、これは間違いなく一つの歴史に残るものになったと確信したと同時に、これで終わりではなく、これがはじまりなんだと思われました。

お互いが自身の信念を静かにぶつけ合い、耳を傾け、更に思いを語っていくその姿に私たちは何を思い巡らせ、これからの保育や子どもに向き合っていくべきか。対談を通して私たちそれぞれが持っている大事な信念を問われているような感覚に胸が震えます。

白か黒かでも、空気を読む読まないでもなく、私自身はどう考えるか。そう自問自答する機会を与えてくれるお二人の対談にご期待ください。（高見）

講座F 絵本を楽しむおとなと子どもたち 田代康子

4月に開催された東京保問研セミナー2021でも講演してくださいました。

現場の保育者のみならず、学生向けとしてもとてもわかりやすい内容だと思います。「絵本を前にした子どもたちは、心の動きを息づかいや表情、ことば、からだの動きで表している」この講座を聞くと、子どもたちに絵本を読むのが楽しみになると思います！

保育の中で「絵本の時間」をどう位置づけるのかを考える機会になるでしょう。



講座D 楽しくつくりましょう

伊藤正雄

東京の美術部会でも、いつも手作りおもちゃを紹介してくださいます。

子どもたちの関係づくりや行事などに役立つようなアイデア、身近な素材を使って簡単にできるおもちゃの作り方を、特別講座でも紹介してくれることでしょう。

特別講座もご期待！！

講座B 家庭への支援の

あり方を考える

五十嵐元子

近年、保育現場では深刻な家庭事情がある子どもと保護者に会うことが多くなりました。この講座では事例から子どもや保護者も含めた家庭・家族が抱える困難を読み解きます。

子どもと保護者に寄り添い、支えにしていくにはどうしたらいいのか、みなさんと一緒に考える時間にしていきたいです！



講座I 被災地は、今—東日本大震災から10年を経て

全国保問研震災学習委員会

突然、被災者となってから10年が経ちました。本来なら仙台集会を開催して、現地でそれぞれが震災を見つめてほしいと願っていました。

被災者の使命と感じていることは、被災者でなければ知りえない様々な問題を未来のために考え、なんとか解決していくこと。そして被災者でなければわからない苦悩や悲しみを風化させずに伝えていくことだと思います。

沿岸部の風景は大きく変わりました。全国、各地保問研からのたくさんの支援や温かい気持ちに支えられて、ぐっと踏ん張ってこられた亘理町・石巻の保育者に、現地の新しい保育施設を訪問してインタビューをしています。今の状況やその思いをご覧ください、10年目の被災地からの発信を受け取ってください。

(仙台保問研・全国震災学習委員会・三浦和恵)

